

先生

多佳餘字辭

完



特別
13
3447



門 へ 13
號 3447
卷

川音



序



賢哉回一簞食一瓢飲左陋
 巷人不堪其憂回也不改其
 樂賢哉回其往也
 次をまろくく。イヤリハ。

早稲田 大學 圖書印
25.11.13
朱

何事をきくべし。此の御経をきく
聞かせませう。此一章ハ。顔子も
貧乏を苦ふからまじ。此の
なまぬこと。聖人の御経を
處じや。とりか。貧乏を樂む
いざい。貧乏にむかひ。樂む

寺の。貧乏が寺の。一こ
邪魔をせ給は。うたが樂し
鋪の果實漬が。まらぬの味。漬
その程。ふ樂し。んぐ目。見
寺の。寺を。と。ふ。つ。つ。の。家。ふ
む。ふ。書。が。有。る。是。見。寺。を。ふ。く。

和題多佳餘字辭

安永九子初春

不埒散人誌

貧幸先生 多佳餘字辭

疏飯と喰ひ水との。膳をまげく。
枕画の新よのながめ入る。貧幸先生
貧乏持と唐机ふあし。斗待百編
百錢乃宵越ち。懐中おのづか。踏たりの
す。人。坐の且月の夕。ちん。有れば

青櫛乃極楽冬年の仕まひもぎちく
まの改る常のまもねるふたれど初買の
趣向と出来ど今之拾貳酒用と欲する
又酒屋の長吉先生 予又來るモウニ合
はるまひ人か聖くさう借りの有るせん
ちんし氣を清きくくも海よコリヤア

現金は錢と名吉 十二 日さひまらへござん
目形も番紙もおまのすまごう。先生縁ハ
口がむらうい。キキるんをほわぐとゲル。
夢場の酒はほきやせかひそれ何ころくって
と海りのの。モシ先生る。晩ハ帳しらの夜
み室引成りやす。おまもゆまなとく。
先 浅きくくくも新氣。

長 ひととくげんおつなえヨ 先 ねお
何の味いなるいほいづる ね ちまがり
勝たらんこころちぢ立勢へそつて賞と
なれぬらんく 先 つけやアア ちぢぢぢぢぢ
も高き学者ぞうく 分別く見くう
行くア酒をとや持つて来らんはあぢぢ
烟と来く来くやまうまのむぢぢ ね 能
ロ

上 ひととくげんおつなえヨ 先 ねお
えんぢぢぢ 先 フクネがうなるおらんく
ね イエヨらんもねまハねらんくいづね
のさ先生えんぢくらんなんせ冬ねん清小ね
ねいさのやうな金にる遠よ子このやのハ
大らんとする居はにまう人あがるかへハ
小産とくいけよぢ保来ハ買とらんね
ゆらこめ かい

命有り富貴天とイヤコウコウチヤ馬の
 耳に風^{フウ} 輝^ヒ〜^ツバコウコウチヤのヤ
 知^チカ^カハ^ハ 殊^ツと^トの^ノ 後^キ者^{シヤ}の^ノ ア^アク^クエ^エん
 とう^{トウ}る^ルが^ガ 殺^キ割^カと^トして^シて^テ 産^{サン}さ^サう^ウ。モウ^{モウ}い^イふ
 の^ノが^ガひ^ヒて^テも^モ 残^{ゼン}ハ^ハの^ノせ^セぬ^ヌ 持^チら^ラ時^ジ少^シや^ヤ 天^{テン}道^{ドウ}
 か^カい^イや^ヤご^ゴう^ウの^ノも^モ 持^チら^ラせ^セく^クら^ラぬ^ヌ 家^カサ^サ飲^{キン}
 残^{ゼン}を^ヲま^マら^ラ持^チら^ラぬ^ヌ。と^トい^イふ^フは^ハけ^ケ 店^{テン} コ^コリ^リヤ^ヤ

ち^チん^ンの^ノあ^アら^ラが^ガい^イの^ノあ^アけ^ケの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラ
 氣^キが^ガあ^アら^ラよ^ヨモ^モエ^エ 家^カサ^サの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラ
 う^ウ〜[〜]の^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラ
 コ^コリ^リヤ^ヤの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラ
 コ^コリ^リヤ^ヤの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラ
 コ^コリ^リヤ^ヤの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラの^ノあ^アら^ラ
 持^チら^ラぬ^ヌ 店^{テン} コ^コリ^リヤ^ヤ



こわんハ^あ智^あを^ああ^あふ^あ一^あ巻^あえ^ああ^あせ^あの^あう^あ し視ハ
よき

先^あ コ^あこ^ある^あま^あ 持^あく^あ 比^ある^あ 出^ある^あ 今^あ 也^あ

志^あし^あ 俸^あさ^あう^あ 此^あ 違^あし^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

狂^あ言^あが^あ書^あけ^あた^あん^あ コ^あレ^あの^あま^あら^あし^あと^あして^あ

ち^あら^あし^あの^あう^あく^あ 今^あ 也^あ 先^あ お^あま^ああ^あら^あし^あ 抑^あ

脚^あハ^あま^ある^あの^あう^あ 先^あ そ^あう^あ 世^あ 也^あ 今^あ 也^あ

先^あ 大^あの^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

先^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ 今^あ 也^あ

長口をたぶらふ。かゝりきよは先母てよやう

と長舌に申す。わ世々の先少るうきづいこと持る [先] 芝生原。さか今ハ

う [先] コバ。うう。こま。うん。さう。あ。ね。さ

市多心出入申き。き。う。人。俄かこふ。か。う。志。あ。の。あ

や。ま。あ。り。ま。屋。も。事。と。得。ば [先] いや。の。う。

おや。ま。あ。り。申。何。時。ふ。う。ら。ば。お。う。は。の

せ。の。ハ [先] 追。う。ぬ。イヤ。拙。者。も。回。籠。甚。乃

不仕す。ふ。う。う。く。年。換。等。も。今。の。う。く。の。あ

ま。せ。ぬ。市。の。易。さ。の。ま [先] いや。モ。ウ。市。を。さ。い。ん

れ。の。源。の。さ。ま。ま。を。た。稱。あ。う。い。の。女 [先] 子。方。

是。ハ。あ。の。な。さ。う。の。う。ら。う。の。先 [先] ト。ウ。ダ。も。し。

あ。い。ま。申。この [先] け。り。あ。し。う。う。の。う。あ。う。

ア。お。ま。ま。の。こ。さ。ん。だ。う。お。い。さ。ご。縁。あ。い。も。縁。て

の。ま。ま。 [先] と。ん。な。う。た。だ。福。く。ら。の。あ。し。油。

庄 コリヤ見あげてごぬのゆき。子おけり
かゝるの先ととも夕ア。き厚いりごきま
買ひ結ぐもあつたる。ハ又か胡才のあつた
かゝるまかりの庄。子モ印どひりんと結ぬ
生男の養すまき。モコレ冬年もあつた付
ふ。シケるとり懸ふ。結とわどきふとく
あつた結む先かゝる結む能く書下り

庄 カアきんぐ見む先 どののいしは結
どくどく 庄 とうあつたれらぬ。おとごをあつた
見も新しきあつたのさ。きあんとこの連ふ學志
とら先 志をとおあつたむひす。叔元メ
仕入らどあつた庄 案どかんすかどくどくも
るこ先 志をよとらくも見あわ落つらぬ。
庄 子まかりあかんやどく。こ家小大結ら

孝行年。武百をうへて。修らるる。如常いふ有り。つ
す。これ。の。ず。り。出。る。の。先コトト。道。而。乃
ら。別。ふ。行。ふ。衣。お。り。ま。よ。バ。禪。多
の。ま。ひ。す。し。ハ。経。河。先。サ。ハ。多。す。ま
と。め。ん。世。ぬ。衣。子。其。れ。い。何。の。こ。も。
す。め。り。ら。あ。ひ。あ。い。は。ら。ま。聖。一。行。く。と。
井。さ。き。ん。如。寺。ら。有。く。ア。御。本。が。す。と。く。と

い。武。百。の。り。る。氣。さ。先。と。り。あ。ア。何。余。ん。だ。
と。ま。ま。と。年。終。り。も。行。く。ま。介。寺。れ。殘。ぐ
ゆ。實。と。衣。論。然。ま。の。海。渡。志。す。と
や。う。ぬ。の。こ。ん。さ。坊。を。あ。り。く。り。ん。て。君
と。も。ゆ。と。實。の。殘。と。大。女。の。座。ん。ら。き。ご。だ。
と。か。れ。れ。い。ふ。ち。衣。サ。ハ。先。生。ま。ん。お。り。け
田。所。と。る。く。大。其。戸。衣。サ。ハ。先。生。ま。ん。お。り。け
聖。の。寺。へ。行。く。武。百。を。か。り。く。く。と。お。ま。え

新石橋の天道がひまろく居候 **先**

部くまのせうかよ **先** 十二

とまんとまろくひのせうかよ **先** おはあ

先 ドウダ婦エかまも事も移り **先** 久

お見おまも移り **先** おまも移り

先 十二日新のどうくも淋し **先** 妙

賞も **先** 松のうらや **先** 佐

新石橋 **先** おまも移り **先** の若

見取 **先** 中なる **先** 妙

おまも移り **先** おまも移り

おまも移り **先** おまも移り

先 おまも移り **先** おまも移り

おまも移り **先** おまも移り

おまも移り **先** おまも移り

今ぞあふんゆりよなう。下きみの客きやくの来るくる附つだ。
 フレテ朝あさく暮くれる。十井じふいおまま屋や後ご物ものいふ
 ちうんのるさう。一附いちふは花はなびませぬりやふ
 すくすく店たフウふう葉はきつるるや。生なままんさ
 ぞまうちり子こやんさう。先ままうのさく。
 オケ出でまあさう。店た出でまかたぐさすま
 りんと納なぶぶがが留るるるとままややののさうさう。和わ高たか

不ぢ直ぢりうと出で。先ままづようしく。店たサア
 りあひ移うつる。先まの葉はの結むすとあるるや
 店たおめいの糸いとの結むすも持もつつま移うつるる入いるるや
 店た子こま又またも無ない。婦むととゆゆふふ寄ようう。
 かしらるるや。ゆゆふふ女にアアイイああささをを
 出でるるかかどどおおままさんさんどどまま女にいいままししぬ。
 二人ふたりの申まをるる店た生なままんまんおおままささううららふ

あついでいふにきつ **之** 十二あるゆん

名 子かひさうの無ひ。大佛寺本陣の

小陣ぐ御白六、勅を家財不飛りか悪ひ。

二本棒ありとけくと。大不かりさうが

あふ。ア、どうきあうまはしる。 **松** 之傍

く **松** 之傍 **松** 之傍 **松** 之傍

けくといひ。家(素)ふみこそ行ゆゆん。

十五

ゆめ事ふ事つ〜あんか及た **之** 名

事へらひもまひ。あんすうごう〜名建振

み今夜初買ふ。それ不常〜るや奴

影道め。ま〜やさんふ。なんごうごうま

かあろぐ。学者の附合。チツ下凄くろぐ。

松 ソリヤアさんご連ごな **之** モシ 先生さん。

コリヤア 月心らぐ本をきごごす。名に松と

さいす。近付にたうくまうなせ 先
 ちやうめん湯屋も見つけ 松 アイム
 やすくまうかんせ 石 や松が 松
 家に近付にまう 松 物もあつた
 物も 松 物もあつた
 有るが。かん首張がまうな 松
 やまうらうの 松 物もあつた

石 物もあつた
 さい。二人前の物と大張と小張と 松
 かん首張が 石 小張とまうな
松 ちのさいめん 松 物もあつた
 物も 松 物もあつた
 物も 松 物もあつた
 物も 松 物もあつた
 物も 松 物もあつた

アイ部百松世世セハくごせ下シくシ門松シ史シで
丈鏡式本形ハ能くろくがシ衣シアリヤシの
近自ら松何れもかふよシ衣シおのほろ
ゆんシハツシふシうシ坂シ衣シむシうシ久シ行シくシふシ。
新者立立見通人松かんが小見世シくも春シろくシ下シ鏡シのシよ
西シくシヤシ摺シもシあシいシさシかシんシ衣シ ナニテモ朱シ書シ
おあシのシ氣シのシむシくシあシろシくシ福シ立シあシアシまシ川シ

松 ナニテモろくシのシさシ先シりシろシをシ室シへシろシくシろシろシ。
三人見世と云着者シ先立見通人シ 着者おれがシもシどもシ 三人か
くシ 着者たれがシおシれシ見シ立シ先シ さらシくシ正シ面シ
とをシろシてシ形シくシ山シ角シをシ 着ハシいシおシろシくシろシろシ。
三人おろく見立と云 三人おろくシ見シ立シとシ 者立シ立シ見シ通シ人シ
松 能くシろシろシろシのシ衣シくシろシ福シ立シアシみシをシ
書シくシ形シのシとシ 松おシろシくシろシくシらシかシくシ衣シ

りぐるまーかな **庄** けほいおしものあふ
ぬ あつのごとろくふまろかな **世** **松** ナニ
 かんごも居るもぶ **子** 来たるなちらん
 出かん 世 **世** **庄** コ ヤイ小徳人
 この客も来る **子** 口んちや **新** **子** なる
庄 かくまふ **子** 子 **子** ねども **子** ちや
庄 あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ

十九

せうろくが **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
 く **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
 世 **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
庄 あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
庄 あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
 と **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
 ね あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ
 ふ あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ **庄** あふまふ

藤原海を九十五丈ちやうかへりてせらるのり。

【ア】 イニ井 イニ 七ウは イニ 七ウは イニ 七ウは イニ 七ウは イニ 七ウは

やだんハおろろまらと。おろしやうしこい。

こまししと。おろろまらと。おろしやうしこい。

出しはしと。おろろまらと。おろしやうしこい。

あふ。あふしと。おろろまらと。おろしやうしこい。

おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

初書でけのまきやうじかのおそいせらる。

はまつくくまきと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。おろろまらと。

小まねつてん 聖ん是り角と **味** せん

いさよふよひ **子** 子アおあるとなん

聖 子ぬひけさ **衣** のりさうと素

先 さまが かてさ 素秋のせ **衣** 先生さん

何のころ **先** 海んとさとい **素** 素

素 素もちん **衣** せんい **子** ちん **衣** せん

ナ 平の切り **素** くちくち 素 **衣** せん

素つふ **子** 素とりの **子** 素い **子** 素ふ

つと **先** 陽橋の **先** **子** 素との **素** 素

子 素とりの **素** 素の **素** 素の **素** 素

ちの **子** 素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの

子 素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの

素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの

素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの **子** 素とりの

賞人の之を面する子 大きふ如女活さ先
 如茶ぐも掛せり。コリヤア仕まんことわらんが
 子 如あふーたえー 松ト上うんぎ着とま
 くら福上松何トやの者ふ家け瑞けど先
 氣が引いげく飛いるいく。意い地ちもいく。さいるいや
 志しふからうす子モイイおとくくらんふ
 知れしていたまきし志しめしましやまどしどし

子

如あふーたえー 先ト如まんく改かるらにご
 庄ちゆうのく學者がく者しやさうすんど物ものもおのしふ
 てもいらんあ事こととするも也や。如あらうらう也や
 不ふ敬けい厚こうのし付けあふ也や 才さい 腦ねんと下すら。
 子 如きよどんんらんらもまきく下くだるら腦ねんと
 下くだるら才さい 腦ねんと下すら 才さい ちらんらのらぬぬ
 如出しるら也や也や也や 松ト小せう庵あんのら 若わ 子こ供ども

運うんりししいいままややととななららくくらら子子ササアアおお座座にに家家
 ててここををすす [名] ここ人人割割座座ももおおしし印印ししうう漸漸
 ししをを [名] モモシシ先生先生ままんんおお示示商商買買ののんんどど
 かか。ちちううとと高高懐懐ぶぶ買買ううくく人人かかんんせせたたのの
 といとい [名] 光光おおししををハハササ。ままぐぐもも懐懐をを出出ちちやや。
 孫孫ららううくくくくちちんん [名] 子子モモおおああううアア。折折かかうう
 安安くくすすふふふふののううどど。おおままとと今今夜夜ののままんんががいい。
 小 ぬ

松松ののどどおおががううくくままぐぐ。ままんんおおししををくくんん
 上上ケケトトシシルル。大大キキななかか合合 [名] 先先とともも松松
 ぶぶららううののううくくままぐぐ。ままぐぐめめくく座座のの大大
 ちちんん [名] 松松新新ままららふふままんんくくららまま也也。とこらるるに本
 美美へへおおたたままのの [名] 松松のの [名] 美美ははイイ明明朝朝おおううんんにに
 庄庄 周周呂呂楚楚のの整整つつ時時ららよよ [名] 美美ササののああううくく松松縁縁
 よようう [名] 松松ららううおおううのの中中ににおおままんんのの [名] 庄庄 物物

知りの床の仕うちと屋敷越へて
あつた。後におまへあつた。舞臺。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。
[先] 旦那様様。[後] 旦那様様。

たか

見の御うたえすか。このうらさといふ。[先] 阿
[後] 阿。おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。
おまへは。おまへは。おまへは。

十二ね
舞臺

まゝお家のものを、いすも何さ。アおんも
は合つてきまして、その愛するく。かゝるひら
く。構りのウキも、あをさうあやうい。まろ
まろまゝとも、あやうい。先ウキ国恋の曲。ひ
場バごよ先先生さん、ワリやアおまをさうの
ひらくくひらの。他他ヲヤすうなる、さうさう
ぬ、やア、ウキあはれさうさう、さう、ねんす。この、さう、これ

あや

かゝる、先ねん、ねん、おま、ウキあはれ、のさあ、さう、ま
このあつた、まゝ、まゝ、見家先続ハ、あつた。
子子まゝまおま、まゝ、まゝ、あはれ、さう、まゝ、ま
まゝ、まゝ、まゝ、あはれ、さう、まゝ、まゝ、ま
まゝ、まゝ、まゝ、あはれ、さう、まゝ、まゝ、ま
まゝ、まゝ、まゝ、あはれ、さう、まゝ、まゝ、ま

先 アノ 天気てんきが名 ナ 大オホの屋やこども目めのいる
 雨あめ玉たまがのあし星ほしだたけあてんきが雲くものあ
 とんホニホニこちき終はつが獲とふ奏そうは今いまと松まつの
 んまうぐおつしかなららんよよい書よみの生なまま
 のあつらひかたごとくごとくあつらつらはらゆるかた
 おしごとくあつらつらぶぶ今いま夜よるままつつ雲くもと出でて

奏そうの場ばがはハハユユウウのの中ちゆうじしもまひまひる
 らつびらんがふふ底ちの中ちゆうららととりり世せ界かいの
 先先天てんののままととららああむむののごご 飽いつつけ
 せん中ちゆうとちうのめやうののままんんともともも 云いふふらんらん
 海うみの船ふねののままりりををああどどままりりんんととりりく 床とこたたんん
 今いま書かきここいい終はつつつののああだだけけすすここららぶぶぬぬい
 どもやうやうふふののままりりららおおししく
 鳥とりかかここふふココケケがが選せん目めとと選せんゆゆにに

庄 へとさへよ。あまがうが空しくせぬがうが
 けきれらうとほれと 庄 ね赤かあるよとあひ
 移す。ふどもいさうこゝろを痛くしつゝま。
 庄 へりかゝるんぐえ移上。十之ダのりま
 なる。うあやがうあや。こゝろを
 とあつ何 [赤] マヤとるぐーぬたふヨク さうだ
 へんす 庄 里 ねまへのあつまかおとひと
 二十

りつこよ [赤] はぬを移のりこおまも。
 知をてあよ。連元の前も有るもんぐ。
 十之ダをとりまと母をゆいりあきれんを
 あり [庄] ソノ連が有るあふをたさくこのり
 里四方の岡場正と十之のりか。けいまは
 赤 かつお前のがりのりもあふ。今夜ア
 きだんより移く。ねまへーあがうがにほれあひ
 このあふ きのあふ

河の聲ゆらりと云いたるは。夕の夜ハ
 東がけの山。誰れも夢くもよがねの山。
香と清の山 **松** 店ありあつらひか
こしやくし 藤らねぞ。おぼも
 先はきんも。むらう藤さ **徳里** ホニ ね休 ヤ
 かんし **松** サア 藤あへー **庄** ヲ
 毛ウ七分はらきんるサア ねう海らよ。

世々

松 中まのねんまう ア ねい。ヨウ ア りんご
先 マア ちんちん。氣と休もや。時ふ言ハ
と藤を出サア ぞうぞう。 葉下のア **松** モシ ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく
葉下のア **松** モシ ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく
 この言ハ ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく **先** ぞうぞう
 初言 ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく
 葉 ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく ア 藤さく

松 ぬぎざととも出さア。とまほこれアノ
 相^{三ノ}後^二ガ。右^{三ノ}平^二を^一ぶら^二り^一か^二さ^一る^二相^{三ノ}後^二ガ。
 アノ^二モウ^一明^{三ノ}ク^二た^一る^二か^一ア^二ノ^一先^{三ノ}ナ^二リ^一ヤ。
 雪^{三ノ}あ^二ら^一る^二も^一ア^二ア^一お^二ま^一が^二あ^一ら^二と^一ま^二ら^一あ^二ら^一く^二見^一る^二。
 こ^二や^一ノ^二松^一目^二の^一ち^二も^一ま^二り^一ま^二ら^一く^二見^一る^二。
 と^二ま^一ら^二ハ^一先^{三ノ}コ^二レ^一く^二能^一く^二舞^一ふ^二の^一ん^二ど^一乃
 又^二な^一ら^二ク^一先^{三ノ}ア^二ノ^一ち^二ん^一ど^二モウ^一何^二何^一と^二モウ^一海^二の^一な^二な^一カ。
 能^{三ノ}く^二舞^一ふ^二の^一ん^二ど^一乃

先^{三ノ}ド^二ウ^一海^二の^一な^二な^一カ^二大^一雪^二よ^一と^二ま^一ら^二く^二見^一る^二。
 小^二ま^一ら^二と^一ま^二ら^一く^二見^一る^二。
 能^{三ノ}く^二舞^一ふ^二の^一ん^二ど^一乃
 ち^二ん^一ど^二モウ^一何^二何^一と^二モウ^一海^二の^一な^二な^一カ。
 能^{三ノ}く^二舞^一ふ^二の^一ん^二ど^一乃
 先^{三ノ}コ^二レ^一く^二能^一く^二舞^一ふ^二の^一ん^二ど^一乃
 先^{三ノ}ア^二ノ^一ち^二ん^一ど^二モウ^一何^二何^一と^二モウ^一海^二の^一な^二な^一カ。
 能^{三ノ}く^二舞^一ふ^二の^一ん^二ど^一乃

コノ目とらぬ〜くえが。里 フツカ〜くえ
 夢とせ〜飛いのよ。何のよ〜いん人。
 松 フツカ四角の出れちや。トウモ^{トウモ}〜無い。
 ナニ〜い。このま〜く〜人お〜う海は^海は^海は^海
 と〜い^いよ。里 せんた〜居あんせが。表
 サアその居候のま〜い〜が。二人お〜う^い〜
 くら〜い。せ〜ん。若者^{若者}に^に通〜る〜て。

表二

お〜が^い難^いらんを^を考^考のんぐ。くあ〜ん〜い^いよ。月。
 表も^も働^働〜金^金を^をあ^あら^ら。里 フリヤ^{フリヤ}角^角んご^{んご}縁。
 トウモ^{トウモ}愛^愛の内^内。秘^秘伝^伝が^がか^か〜く^く〜い^い〜う^う〜。ト
 事^事ハ。出^出来^来〜せ^せ〜ん。〜は^は〜い^い〜ん^ん〜縁^縁。松 フツ
 い^い〜ら^ら〜ち^ち〜や^や。〜人^人お^お〜う^う〜。〜ま^ま〜い^い〜ん^ん〜縁^縁。
 くら〜い。〜い^い〜ん^ん〜の^の〜ま^ま〜い^い〜ん^ん〜縁^縁。里 フツ
 無^無〜い^い〜ん^ん〜の^の〜ま^ま〜い^い〜ん^ん〜縁^縁。表
 無^無〜い^い〜ん^ん〜の^の〜ま^ま〜い^い〜ん^ん〜縁^縁。表

かきんぐやぶる一福上と建ううかひてふ
 志あへ一袋と物する時^トキヤア。来るる人のいひは
 とまひて。おまへらのあてのいひは
 のまきものぐおあへ。はきりかへせし
 志あへうら松^松さんごちあご先^先衣^衣 コリヤア
 ちあごとう^先先^先 アレ^先 雀^雀がちうくご^庄庄^庄 サア
 向ふべいとこ人はねま出^出ル 里^里ワレ 雲^雲よー

三平

ぬかく来^来る^来は^は 目^目を^をす^すり^りく^く 鱈^鱈長^長脚^脚どんおろ^のの^のと^と若^若
 おろ^おろ^ろ様^様一^一ま^まは^は 雲^雲大きなの^のおま^まご^ごこの
 雲^雲の^のゆ^ゆま^まろ^ろみ^みん^ん。ア^ア一^一夜^夜か^かの^のあ^あら^らい^い。
 庄^庄こんな湯^湯うん^ん場^場た^たご^ごめ^めく^くま^まご^ご先^先 玉^玉
 ぶ^ぶい^い西^西ご^ごら^らひ^ひご^ご雲^雲 ア^アノ^ノ向^向ふ^ふの^の上^上回^回を^をま^まで^で
 筆^筆く^く下^下結^結か^かく^くら^らね^ねら^ら若^若ハイ^{ハイ}。と^と三人^{三人} 雲^雲
 付^付く^くら^らあ^あへ^へん^んご^ごマ^マら^らひ^ひご^ご若^若今^今あ^あら^らい^いふ

川音

まのまの
三人
おちん
てら
鐘
里
米
ふ
ま
ら
し
し
君
毛
ウ
一
層
ん
垣
扉

